

家畜審査競技会へ参加

能代西高校の畜産部門では、繁殖牛3頭を飼育し、牛の飼養管理技術を学んでいます。7月22日に由利本荘市で開催された、秋田県学校農業クラブ連盟主催の家畜審査競技会に能代西高校の生徒も参加しました。

この競技会は、学校の授業や農業クラブの活動をとおして得た家畜審査技術の成果を発揮することを目的に開催されています。

競技には県内の農業高校6校から約40人の学生が出場し、個人ごとに成牛4頭、仔牛5頭の中から、骨格・肉付きなどの部位を観察し、優れた牛を選択しました。競技に参加した生徒は牛を触って特徴を確認するほか、牛を遠くから眺めて全体的な体型を評価するなど入念に観察していました。最後に審査員から、審査する際のポイント、各部位の美点、惜しい点などについて解説があり、生徒達はさらに理解を深めました。



←集中して審査をする生徒



←頭一頭を厳しく審査

秋田県学校農業クラブ連盟夏期講習会

→参加生徒全員で記念撮影



8月1日、2日に横手市で秋田県学校農業クラブ連盟夏期研修会が行われました。秋田県内で農業を学ぶ学校の代表者が、クラブ員間の友好を深めるとともに、単位クラブの活動状況を報告し合い、農業クラブ活動をさらに活発にするために話し合いなどが行われました。

初日は日の丸酒造の蔵見学や野外炊飯、農業鑑定学習会などを行い、学校の枠を超えた親睦を深めることができました。2日目は研修会のメインとなる「分科会」が開かれました。3つのテーマが与えられ、それぞれの分科会で意見を出し合い「農業クラブ活動の活性化を啓発するためには？」

などの話し合いが行われました。その後、高校生の目線から出たアイデアや学校で実践するための具体的な方法などが報告されました。